

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
寄生虫学	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	小林 浩二	
授 業 概 要						
<p>寄生虫検査における臨床検査技師の職責は、寄生虫を同定することにある。そのためには、感染者の症状や背景情報からどのような寄生虫に感染しているかを推察する知識が必要である。その上で虫卵、幼虫もしくは成虫体を検出し鑑別するための技術が要求される。この授業では、寄生虫の生活史を通して、感染経路、感染症状を学び、検体採取から同定までの検査の流れを重点的に学習する。</p>						
到 達 目 標						
○総論	①蠕虫、原虫、衛生動物の分類ができる。					
	②宿主との関係（相互関係、感染経路（疫学）、生殖、免疫反応などの基礎）が理解できる。					
○各論	①虫卵、幼虫や成虫を形態的に鑑別できる。					
	②虫卵の形態的な特徴を理解できる。					
	③寄生虫の生活史（生態）について理解できる。					
	④中間宿主、待機宿主や終宿主について理解できる。					
	⑤感染源や感染経路を理解できる。					
	⑥寄生虫がもたらす疾患（感染症）について理解できる。					
	⑦適切な検体採取、検体保存について理解できる。					
	⑧検査法（糞便、血液、その他）の特性を理解し適切な検査法を選択できる。					
	⑨治療や予防方法について理解できる。					
○衛生動物	①衛生動物の形態的な特徴を理解できる。					
	②衛生動物やそれが持つ病原体がもたらす疾患について理解できる。					
実務経験のある教員						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	寄生虫学概論1（疫学、生活史）				小林 浩二	
2	寄生虫学概論2（生殖・発育、疾患）					
3-4	線虫：回虫、アニサキス、蟯虫、鉤虫、東洋毛様線虫、住血線虫、旋毛虫、糞線虫、糸状虫、各検査					
5-6	吸虫：住血吸虫類、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫、肺吸虫、各検査					
7-8	条虫：裂頭条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、縮小条虫、小形条虫、包虫、各検査					
9-13	腸管寄生原虫：アメーバ、ランブル鞭毛虫、クリプトスポリジウム、イソスポーラ、サイクロスポーラ、各検査					
	血液組織寄生原虫：マラリア、トキソプラズマ、トリパノソーマ、各検査					
	泌尿器寄生原虫：膾トリコモナス、各検査					
14	衛生動物：ノミ類、ダニ類、シラミ類、各検査					
15	寄生虫学におけるPBLの実践					
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> ・動画教材を利用し、虫卵や幼虫の形態を確認しながら学習すると理解が深まる。 ・配付資料を効果的に利用し、予習・復習を実施すること。 ・記憶の定着を促すためにWEB教材による知識の確認を行うこと。 						
評 価 方 法						
<p>定期試験（70％）及び小テスト（30％）により評価する。小テストは項目ごとに実施するが、項目によっては小テストに代わり、課題提出による評価を行う場合がある。また、遅刻や欠席等で小テストを実施しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。なお、再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。</p>						
先 修 科 目						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
臨床検査学講座 医動物学（著者：平山譲二 出版：医歯薬出版株式会社）						
〔参考書〕						
一般検査技術教本（監修：日本臨床衛生検査技師会 出版：丸善出版）						